

大正中学校 校長 小西満です。いつもありがとうございます。

5月も後半になりました。学校（進路）説明のことで、高等学校などから本校への訪問が始まっています。また、各学校の紹介ポスターが廊下に少しずつ掲示されてきました。進路実現に向けた様々な取組が始まっています。

5月23日（月）・24日（火）に第1学期中間考査を実施しました。授業に加え、考査に向けた放課後の学習会を開催し、また、直前の土曜日午前にも学習会を開催しました。各自で勉強している様子に加え、友だちや先生方を相手に問答している場面、そして、考査問題に一生懸命向き合っている姿がありました。

今回の頑張りを継続しながら、明らかになった課題にチャレンジすることにも、生徒・教職員が一緒になって取り組んでいきたいと思えます。

「10代にしておきたい17のこと（本田健・大和書房）」、今、私が読んでいる本です。17のことの1つに「夢を生きる」という内容がありました。生徒の皆さんの考え方や取組の参考になればと思い、要約し、紹介します。

『夢をもっている人は輝いている』

小さな夢から大きな志と言えるようなものまで夢は様々で、夢の大小に関係なく「これは大切だ」と思うものに向かって人生を歩んでいる方々のエネルギーを感じ、輝きに刺激を受けよう。

『「どうせ無理だ」という言葉は捨ててしまおう』

不自由なことを感じ、未来を客観的に見ることができない時もあるかもしれないが、そのことで「どうせ無理だ」と諦めることはしない。もし、自分が自由になった時に、何をするのか、今から考えてみるのもよい。

『あなたには無限の可能性がある』

目の前にはいくつものチャンスの扉があり、その向こうには可能性の道が続いている。目の前の可能性を切り開いていこうとチャレンジすることが大切で、一つの扉が閉まっても、新しい扉が開くということもある。

6月以降も、新型コロナウイルス感染状況を確認し、また、ガイドラインなどに則りながら、教育活動を進めます。保護者の皆さまや地域の皆さまの学校行事への参加につきましても、参加者を限定することや参加人数を制限することに加え、状況によっては参加を控えていただく場合もあります。

このことについては、学校からも情報発信をしていきますが、引き続き、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。